

マジックナンバーで編む 1玉スヌード



<デザイン>リンダアレグラ (デザイン・編み図監修) 田畑真代
<できあがり寸法> (置き寸)
幅: 約33cm 丈(1周): 約70cm

<使用毛糸>

毛糸名	色	No.	g数	玉数
マジックナンバー	グレー×水色×黄	61-632	100g	1玉

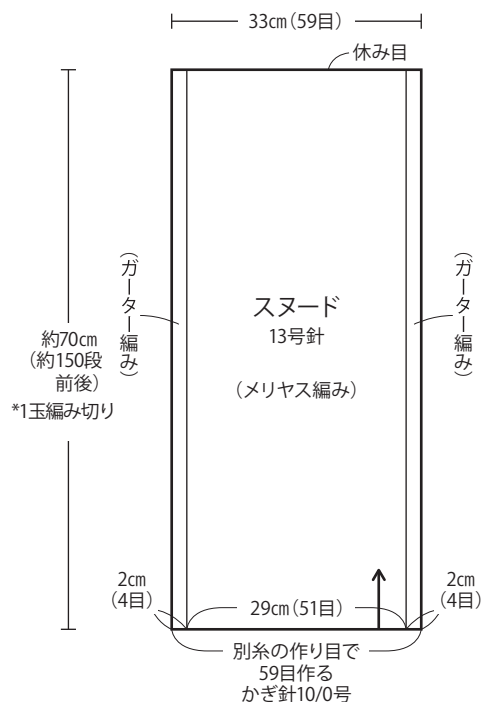
<使用道具>

- クローバーあみ針「匠」棒針2本針 13号
- クローバーかぎ針 10/0号
- とじ針
- 目数リング (*目数リングを入れながら編むとわかりやすいです)
- 別糸 (作り目用)

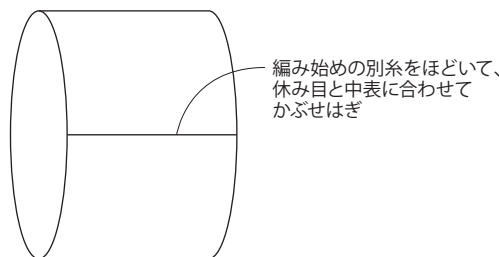
<ゲージ> 10cm平方
メリヤス編み: 17.5目×24段

<編み方>

- かぎ針10/0号を使って、別糸でくさり59目作ります。
- 作り目から「A色9目、B色9目、A色9目、蛍光色2目、A色9目、B色9目、A色9目、蛍光色2目、A色1目」と59目拾います。これが1段目となります。
- 図の記号通りに表目と裏目で『A色(9目)、B色(9目)、A色(9目)、蛍光色(2目)』を守って編んでいきます。
- 最後のとじ分(約2m)を残して1玉編み切ったら、編み始めの別糸をほどいて中表に合わせてかぶせはぎにします。
*できあがりのサイズ・段数は参考程度にご覧ください。



仕上げ



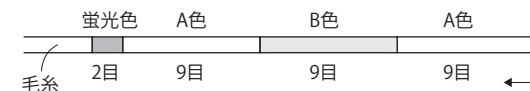
<マジックナンバーについて>

POINT ここがポイント

(1) マジックナンバーの編み方ポイント

この毛糸は色ごとに編む目数が決まっており、その目数を守って編むことで模様ができ上がっていきます。

毛糸は3色構成になっており、下記の目数を意識して編みます。



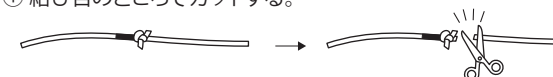
(2) 目数の合わせ方ポイント

2目を合わせるの比較的簡単ですが、9目を編む場合は、慣れるまでは調整が必要になります。最初のうちは、9目にならなかった時は数目戻って、合わせるようにすることをおすすめします。手の強さは編む人によってそれぞれなので、針の号数や糸の引き具合で調整してください。半目ぐらいが隣の色になっても模様全体にはあまり影響しません。

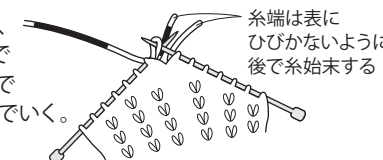
(3) 糸に結び目や細い部分があった時

●結び目があった場合

- ① 結び目のところでカットする。



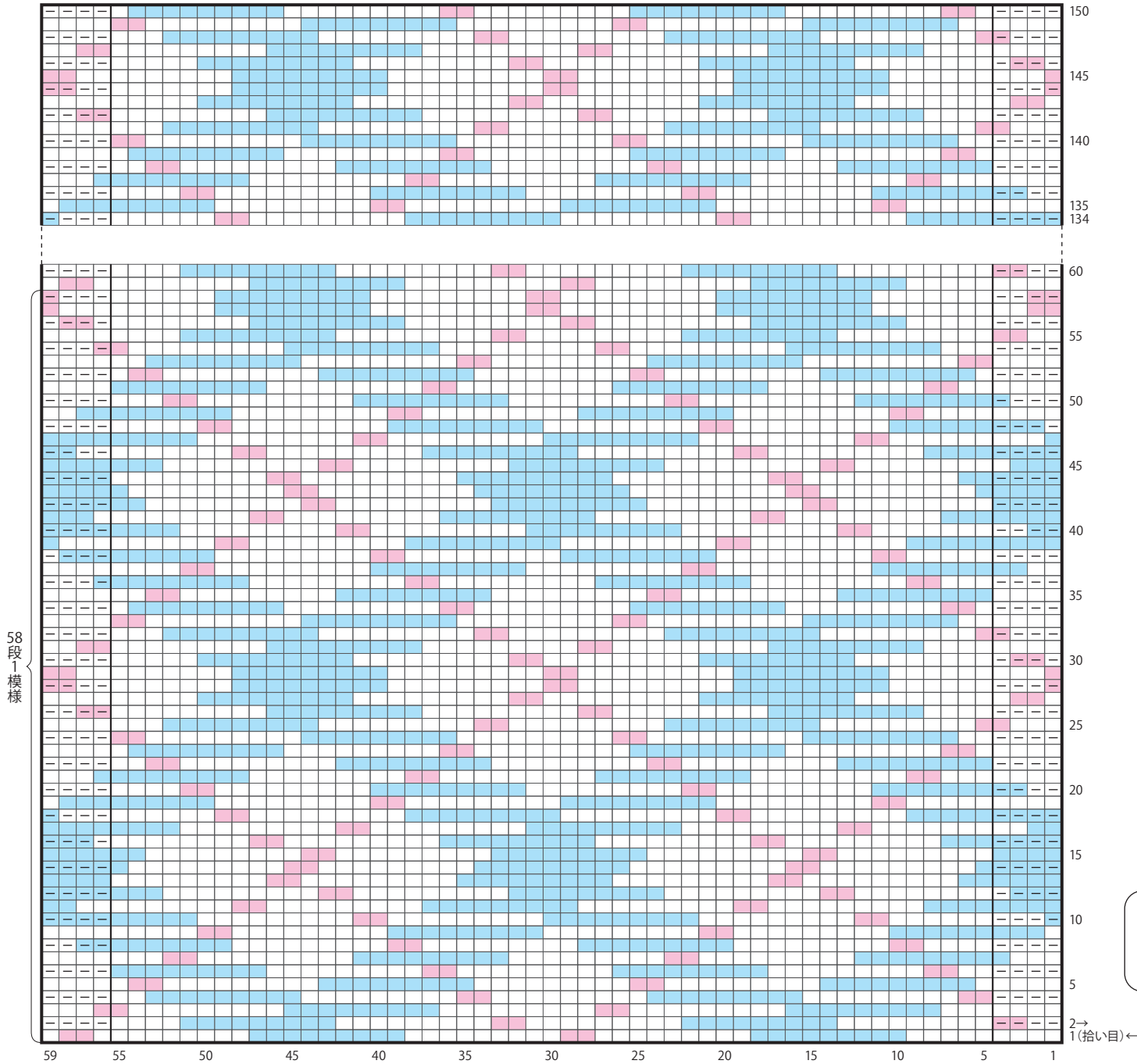
- ② 色の順番をたしかめて、順番通りになるところで糸をつなぐときの要領で新しい糸をつけて編んでいく。



●細い部分があった場合

細い部分が2cm前後でしたらカットせずそのまま編み進めて大丈夫です

※ 気になるようでしたら「●結び目があった場合」と同様に、カットして糸をつなぎ、糸始末をして下さい。



<マジックナンバーの特徴>

Checkedred チェック柄

この毛糸は1模様が
A色(9目)、B色(9目)、A色(9目)、蛍光色(2目)の計29目に
なります。
この模様は1段ごとに1目ずつずらして編んでいくことで模様
が斜めにずれていきチェック柄が浮かび上がります。

※ 1目ずらせるために、1模様の目数に「1目」を足した数が
作り目数となります。

<編み目記号>

棒針編み

- | | |
|----------|---------|
| □ = □ 表目 | □ = A色 |
| □ = 裏目 | ■ = B色 |
| | ■ = 蛍光色 |

* 糸の編み始め位置 *

